

主な製品の売上高の状況と見込み

製品名	当第2四半期 売上高(実績) (億円)	対前年同期 増減率	2018年度 売上高(実績) (億円)	2019年度 売上高(見込み) (億円)	対前期 増減率
オプジーボ点滴静注	468	+3.1%	906	850	△6.2%
グラクティブ錠	133	△3.3%	269	265	△1.5%
オレンシア皮下注	100	+16.0%	174	190	+9.0%
フォシーガ錠	87	+24.4%	145	165	+13.8%
イメンド／プロイメンド	59	+10.4%	106	115	+8.4%
リバスタッチパッチ	44	△3.7%	89	95	+6.8%
オパルモン錠	45	△19.2%	104	90	△13.1%
パーサビブ静注透析用	35	+28.4%	57	70	+22.4%
カイクロリス点滴静注用	29	+13.5%	49	55	+11.8%
リカルボン錠	26	△41.1%	73	50	△31.9%
オノアクト点滴静注用	24	+12.6%	46	45	△1.8%
オノンカプセル	16	△18.3%	44	35	△19.9%
ステーブラ錠	16	△15.4%	37	35	△5.3%
オノドライシロップ	10	△14.2%	27	20	△25.9%

HCNチャネル遮断剤「コラン[®]錠」製造販売承認取得

2019年9月に、心拍数が高い慢性心不全の患者さんに対する新しい治療薬としてHCNチャネル遮断剤である「コラン[®]錠」の製造販売承認を取得しました。本剤は、心臓の洞結節に発現するHCNチャネルを遮断することで、血圧に影響することなく心拍数のみを減少させる新しい作用機序の経口剤です。

慢性心不全の患者さんは、心臓が十分な血液量を拍出できないことを補うために心拍数が高くなる傾向にあり、それが長期にわたり継続すると心臓にさらに負担がかかります。また、高い心拍数は慢性心不全患者さんの予後に悪影響を及ぼすことが知られています。コラン錠は、β遮断薬を含む既存の慢性心不全治療薬を服用しても心拍数が高い患者さんに対して、新たな治療選択肢になるものと期待されています。